

日本キリスト教団

京都教区ニュース

私にとって教区とは(22)

丹陽教会 福田 正美

私にとって教区とは、様々な方々と支え合っ
て歩む「親と子」の様な関係だと思っていま
す。佐原英一前議長が体調を崩されて任期半
ばで退任されるといふ不測の事態がおこり、
後の任期を望月修治副議長が引継がれました。
私が教区の常置委員として丹陽教会から信徒
代表でその任を受けましたのも佐原教師が入
院される前でした。お元氣な議長で、新入の
私をいろいろと指導していただきました。丹
陽教会の新任教師片岡広明教師の就任式の司
式も、総会議長佐原教師が務められ、その時
の招聘の辞を私が述べさせていただきました。
その片岡広明教師を招聘することについて
も教区の多くの教師や信徒の方々に御協力い
ただき、特にかつて丹陽教会で信仰生活を送
られ現在は紫野教会におられる志賀勉さんに
相談ののつていただきました。

当時、丹陽教会では吉川勇教師が辞任した
いと申されて役員会で何度も話し合い、会議も
繰返したのですが、吉川教師も決意が固く、
止むなく承認した後のことでした。

吉川教師の辞任を受けて、私たちは後任の
教師を迎えるために活動を始めましたが、最
初は途方に暮れる思いでした。けれども教区

にかかわる多くの信徒の方々、教師の方々が
いつも心良く相談のつてくださいました。
また、これまでの丹陽教会の歩みにかかわっ
てこられました教師、信徒の方々にも御心配
いただき、お声をかけていただきましたこと
は本当に心強いことでした。

多くの方々に相談のつていただき、何よ
りも主の導きによって、丹陽教会は主任担任
教師の交代という困難な時期を乗り越え、新
たな思いで歩み始めることができました。新
志賀勉さんの故郷は綾部です。志賀さんの
ご家族は、ご一家共々素晴らしいクリスチャ
ンホームで、ご両親共に丹陽教会の役員を永
年お世話になりました。昨年十一月一日志
賀勉さんの司会で、丹陽教会に於いて、追悼
記念礼拝が行なわれました。片岡教師始め丹
陽教会の信徒も参加しました。

京都教区の一教会である丹陽教会のことを
少し御紹介したいと思えます。丹陽教会には、
自慢出来るものがあります。それは教会の西、
山裾野に、夕陽ヶ丘墓地がある事です。当教
会員の高倉平兵衛さん、西村太州さん、佐々
木小太郎さん、波多野鶴吉さんがあの広大な
土地を教会に贈って下さったのです。一九二
八年(昭和三年)七月に世界日曜学校大会が
アメリカのロスアンゼルスであり、その出席
渡米記念に高さ七メートルもある大きな十字
架塔を建立されました。以下「丹陽」第五号
(一九八二年五月発行)に西村美起子さん(一

〒602-0917
京都市上京区一条通
室町西入ル
電話(075)451-3556
FAX(075)451-0630
Eメールアドレス
info@uccj-kyoto.com
発行代表者 望月 修治
編集責任者 大澤 宣

九九八年一月十六日(召天)が書かれた「亡
き父のこと」の中から引用します。
「父がロスアンゼルスで世界日曜学校大会
に出席した時、かの地の山上に建てられた大
きな十字架を見て感動し、綾部にもあの様な
ものを建てたいと念願し墓地の奥に建て、駅
からとてもよく見えると大喜びでした。……
と書かれています。その十字架の下の広い所
は桜の木やさつき、大きな杉の木立が植樹さ
れています。整備すれば公園も出来そうです。
その下側に夕陽ヶ丘墓地があり、私有地墓地
と丹陽共同納骨碑が納まっています。残る土
地の半分がさつき花園で、あとの半分が駐車
場になっています。」

現在は、札幌にお住まいの吉田幸夫さんは
「丹陽」第六号(一九八六年七月発行)で次
の様に出稿されています。

「神に召された時、安らかに眠る墓地を確
保しておきたいと願うのは私だけではないと
思う。週報の予告に、墓地管理会とあるのを
見て、連れ合いと相談の上、予想以上の破格
で分譲していただき大いに安堵した。綾部市
街を一望に見渡せる絶好の夕陽ヶ丘、私達の
墓地としては願ってもない一等地……同じ
「丹陽」第六号で、坂本和代さんも次の様に
書かれました。「丹陽教会は信仰の先輩方のお
献げにより、素晴らしい会堂のみならず、夕
陽ヶ丘の墓地にも恵まれます。居ります。その恵
みに私共もあずかれます事は筆舌には、つく
し得ませぬ喜びでございます。幼い日、これ
も又、憧れつゝ遙かに仰いだ十字架塔のもと
で、再び主が来り給う時まで憩わせて頂ける
とは、こんなに恵まれてよろしいのでしょ
うか……。」と記して下さいました。

最後に常置委員としての役目も、充分果せ
ないまま任期が終り、ただただ申し訳なさを
感じます。

第71回(合同後第41回)

京都教区定期総会報告

第七一回(合同後第四一回) 京都教区定期総会が五月三日(木)と五日(金)に京都教会で開催されました。開会礼拝は小柳伸頭教師が「チムグリサ」との説教題で憲法問題、そしてルカ福音書一〇章二五節以下の物語を踏まえて、チェンマイ(タイ)のバンサバイ(いこいの家・エイズ患者への支援や沖縄・辺野古の米軍基地建設阻止行動に取り組む人たちの「チムグリサ(肝が痛む)」と、そこに思いを繋ぐ歩みを」と語られました。

教団問安使については今回も受け入れを拒否いたしました。昨年一〇月に開催された第

教区総会 開会礼拝

三五回(合同後第二〇回)教団総会において、山北宣久議長は一九六六年第一回教団総会以降の教団の歩みを「荒野の四〇年」と表現し、「教団の歩みに誤りがあった」と

述べました。山北議長の姿勢は合同教会としての多様性の否定、さまざまな教派的伝統をもつ諸教会を排除してしまう結果につながります。京都教区はそのような姿勢に立つことは出来ません。その抗議の意志として拒否しました。

午後二時の議事では、議長報告に続いて常置委員会、各部・各常設・各特設委員会報告をはじめ二〇〇六年度の教区の宣教活動が報告され、質疑が行われました。五つの特設委員会の継続も承認されました。

第一日目夜には、逝去者記念式が行われました。二〇〇六年度に亡くなられた八〇名の教会員、二名の教師を記念し、柏木和宣教師が追悼の辞を述べられました。続いて准允式・按手礼式が行われました。所信表明の後、五名の方が准允を、三名の方が按手礼を受けられました。京都教区では「教師とは何か」という真理問題を含んで問われている教師問題を共有するべく、按手礼・准允は教区総会で行うことを決めていきます。按手礼は教団によって教区に委ねられた務めであり、按手をするのは教区の代表者であると理解し、第六九回(合同後第三九回)総会から教区総会議長によって按手が行われています。

今総会で審議された他の主な議案とその取り扱いの概要は以下の通りです。

○同性愛者差別問題への取り組みを推進する件が承認されました。昨年一〇月に開催された教団総会で二度にわたって同性愛者を

差別する発言がなされました。これは教団、教会がもっている根強い差別構造が顕わになったものです。このことを重く受けとめて、京都教区も教区内における対話、学習、協議を継続し、問題の共有と、差別意識や構造の克服に一層取り組むことを決めました。

○「京都教区宣教基本方策」の一部を改定することが大枠で承認されました。この件については改定案の文言を巡って論議がなされ、その確定に関する取り扱いについては常置委員会に検討が委ねられました。

○「第三五回(合同後第二〇回)教団総会における教団総会議長報告に対する抗議声明」を京都教区総会名で出すことが承認されました。

○建議「戦争の出来る国づくり」が急速に進行する中での京都教区としての態度表明」を承認しました。

今総会は選挙総会でもあり、教区総会議長・副議長・書記・常置委員・各部各委員会委員の各選挙・選任が行われました。教区総会議長には望月修治教師が、副議長には井上勇一教師が再任、また書記の選出については議長と副議長に選出が一任されました。(五月一日に開催された常置委員会で大澤宣教師が一年間、書記代行に選任されました。)常置委員会の選挙の結果、教職・信徒各七名、計一四名の常置委員が選出されました。各部各委員会委員の選出も承認されました。(望月修治)

二〇〇六年度「語り明かそう

性差別問題」一泊合宿報告

性差別問題特設委員会委員
榎 本 愛 美

二〇〇七年三月一八日(日)一九日(月)、興正会館において、教区性差別問題特設委員会主催、教区同性愛者差別問題小委員会、兵庫教区社会部、信仰とセクシュアリティを考えるキリスト者の会(ＥＣＱＡ)後援の「語り明かそう性差別問題」一泊合宿が例年にならって教区、教派を超えて全国各地から三六名が参加して開催されました。

今回はテーマ「同性愛者は牧師になれない」のか?パート10 ―教団総会での「差別事件」を受けて―で、第三五(合同後第二〇)回教団総会での「差別事件」について発題を受けました。発題は川田岳郎さん(東京教区代田教会・信徒/ＥＣＱＡ)と、谷村徳幸さん(京都教区水口教会・教師)にしていたいただきました。川田さんの詳細でかつ丁寧な報告を聞いて、こういう差別事件が無自覚に繰り返される現実を憤りを覚えると同時に、そういった現実を温存している教団全体の体質を許さない各教区・教会の強い取り組みが迫られていると思います。次に谷村さんのお話をうかがって、私たちが差別事件を許さない共同の思いを確認させてもらいました。自己

紹介も兼ねて参加者がそれぞれの立場から質疑・討論をおこない、その後の交流会もぎりぎりの深夜におよびました。毎年参加してくださる方ばかりでなく、教区からのあたらしい参加もあり、合宿での実りを今後の取り組みに活かしていけるように思いました。参加者のみなさま、後援していただいた諸団体にあらためて感謝申し上げます。

准允を受けて

京都復興教会 市原 順



この度、准允を受ける事が出来ましたこと、主に感謝を捧げます。若かったころ、ある集会で献身者を募られたことがあり、その時

背後から押し出されるような思いに献身を表明したことがあります。その後日本は太平洋戦争の火蓋を切り、当時父は牧師として牧会に励んでいましたが、牧師の生活は大変でした。「赤貧洗うが如し」という言葉がありました。その経験から、何時とはなく、「絶対に牧師にだけはなるまい。」と心に決めてしまいました。仕事としていた教員生活が定年を迎える頃、ある集会で、講師であった本田弘慈先生が、「今、日本には伝道者が少ない。そし

て日本を救う道は、福音しかない。若い人が献身されるのは大いに結構だが、定年を迎えられる兄弟姉妹がおられるなら、是非献身して、この日本を救いに導く器になつていただきたい」と心熱く語られました。

その後、長い間の学校勤務を終えたとき、連れ合いの弟である牧師夫妻から、「定年を迎えて、自由になったのなら、是非献身しませんか。」と薦められ、今更勉強もないだろうとは思いましたが、Ｃコースの学びに導かれました。しかし、〇五年一二月、大動脈乖離という病に冒され、生命の危機にさらされました。それは、ちょうどＣコース三年目、最後の受験を目前にし、既に願書提出後でした。

やむなく延期願を提出し、一時は諦めようと思いましたが、祈りのうちに主は「何か、し残していないか」と迫ってください、一方背後にある多くの愛兄弟の祈りに支えられ、不思議にも病が癒され、秋の試験に臨み、合格の通知を戴き、准允を受けることができました。貧弱な器にもかかわらず、神様の聖手の中に在ったことを覚え、感謝しています。

夕暮れ時まで何もせずに佇んでいたような者です。年輪的にも如何ほどの御奉仕が出来てかわかりませんが、主が用いてくださるのであれば、「夕暮時に、光」を下さり、生涯をかけて、御奉仕をさせて戴けるものと信じ喜びの中におります。

今の気持ちを代弁してくれるような聖歌(五

八六) がありますので御紹介いたします。

一 悲しめる者に我を遣わし
伝えしめよなが救い

御心とあらば主よいずこにも
喜びて我は向かわん

二 小暗き所に我を遣わし
聞こえしめよなが救い

聖言によりて息吹き返す
死にかかりし者もあらん

三 色付ける畑は見よ刈りいるる
人の来たるをば待てり

刈り入れ場にとく我を遣わし
用い給え我が君よ

四 いかでか我のみ手をこまぬきて
空しく立ちつくすべき

召さるるをば待ち我ここにあり
遣わし給えこの身を

(折り返し)

この身の霊を献げまつれば
主よ受け入れて

恵みを取り次ぐ管とし給え
亡びゆく者のために

大津教会担任教師就任に際して

大津教会 高田 太



大津教会の高田太^{たかたたい}です。二〇〇〇年に大津教会で望月教師より洗礼を受け、以来大津教会で信仰生活を歩んできましたが、この

度、望月教師の暖かい促しと、教会員の方々の励ましやお導きによって、同教会に担任教師として就任いたしました。現在も同志社大、学術研究科の博士後期課程に在籍しており、学問研究と教会活動を両立して行くこととなりますが、双方の目的が最終的には一致すると信じて、日々を歩んでおります。

教師という立場になって二ヶ月、改めて感じさせられるのは多くの方々の奉仕と祈り、そして信仰によって教会が支えられており、また支えられてきたという事柄です。この大津の地に教会が建てられ、それが今日まで絶えることなく存続しているということは、そこに神から与えられた使命が存しているという事です。この地に吹く霊の風を受けて、精一杯がんばって行きたく思っております。

准允式を終えて

京都丸太町教会 渡 圭一郎



二〇〇七年四月に京都丸太町教会に担任教師として招聘していただいた渡辺圭一郎と申します。この三ヶ月を振り返りますと、新しいこと、知らないこと、やるべきことがたくさんありました。目を白黒させながら、無我夢中で駆け抜けた日々であったように思います。

五月に京都教区総会で准允に与らせていただいたことが、今ではだいぶ前のような気がしています。三ヶ月しか経っていないことに、改めて驚かされます。この度の准允式では、志を同じくする友と共に准允に与ることができたことを恵みとして感謝しています。また各地で准允を受けた学友からその報告を伝え聞き、准允に与ることの喜びと恵みの感覚をより深めていただいたと感じています。

准允式を終えて、京都丸太町教会で奉仕させていただいております。遣わされた教会とその働きについて、徐々にですが理解を深めさせていただいています。また教会員の方々とも少しずつ交わりを豊かにしていただいております。教会という場での奉仕の意味、教会での働きの広さ、深さ、尊さを日々教えて

いただいています。実際には自身の力不足や無力さという痛みを通じて教えられることの方が多いのですが、そのことを通じてでも少しずつ成長し、理解を深めてゆければと思います。励ましやお祈りに慰められ、支えられて頑張っています。この場をお借りして、感謝申し上げます。京都教区の働きについても、今後更に理解を深め、交わりを深めさせていただきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

按手札を領した者として

東舞鶴教会 沖崎 学



私は、二〇〇四年四月二九日に伝道の准允を受け補教師とされ、二〇〇七年五月三日に按手札を領して正教師とされました。これまで

で、東舞鶴教会は主の日ごとに礼拝を守ってきましたが、私（主任担任教師）が補教師であったために、（教規第一〇四条に従い）聖礼典の執行ができませんでした。

それが、二〇〇七年五月二七日（ペンテコステ）に、初めて聖礼典を執り行うことがゆるぎました。神に召され、日本基督教団の定める正規の手続きを経、初めて聖礼典を執

り行い、私は喜びと感謝とに満たされました。また、東舞鶴教会の方々とも、一緒にその喜びを味わい知ることができました。

これから、ますます主キリストの大宣教命令、「あなた方は行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなた方に命じておいたことをすべて守るように教えなさい。」との御言葉に従い、与えられたつとめを祈りつつ果たしてゆきたいと願っています。

就任にあたって

洛北教会 北川 善也



このたび、西東京教区の阿佐ヶ谷教会から転任してまいりました北川善也です。同い年の妻と小五・小三の息子たちの四人家族です。

全員運動大好きな「体育会系」家族です。私は一二年間、化粧品会社で営業一筋の社会人経験をした後、献身いたしました。京都にやって来たのは、中学校の修学旅行以来です。おかげで、毎日が新鮮、一つ一つが新しい発見という感謝に満ちた生活を与えられています。洛北教会は、今年一二月に創立一〇〇周年を迎えようとしています。この大きな節目の

時にあつて、教会が主の御栄光を現すために進めてきた歩みを振り返ると共に、これから私たちが歩んでいくべき道が主によって示されることを祈り求めつつ、教会が取り組むべき業にあたつてまいります。今年、私にとつて正教師受験の年でもあります。このステップを踏むことによつて、「主がお入り用なのだ」と言われる主のための道具とさせていただくことを心より願っています。

京都丸太町教会就任にあたり

京都丸太町教会 工藤 尚子



今春より、京都丸太町教会に兼務担任教師として寄せていただくことになりました。京都教区、また京都丸太町教会で与えられた新しい出会いを感謝いたします。

本務としては、大阪教区に属する同志社香里中高へ教務教師として遣わされております。教会とは異なる伝道のあり方が求められる現場ですが、主から与えられた務めに精一杯励んでいきたいと奮闘する日々です。

若い魂に主の福音の喜びを伝えることは、容易なことではありません。彼らの周りには利根的な快楽や欲望が満ちており、それらと

は全く異なる「主の永遠」について、思いを致す方途は閉ざされているかのように思われます。しかしそのような現実の中でこそ、福音伝道の最前線に立つ者としての使命があるのだと自覚しております。

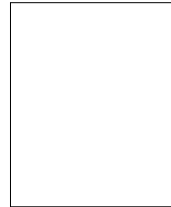
とは言え弱く脆い器ですから、伝えるべき福音とは何なのか、果たしてそれは可能なのか、主の御力の働きに疑いを抱きたくなることもあります。兼務担任教師として教会に繋がらせていただけることは、そのような弱い私の命綱であります。同じ信仰に拠って立つ神の家族の中で、御言葉を聞き、聖霊をいただいて、また新たな力に満たされて、自分の「宣教現場」に戻っていただけるのは、本当に心強いことです。

とりわけ、佐藤博教師の重みある力に満ちた説教にあずかせていただくことは、若く未熟な「伝道者の端くれ」に過ぎない私にとつて身に余る幸いです。

兼務ではありませんが、京都教区に招かれたことを主の大きなご計画の一部と信じ、教区の諸先輩方のお祈りやご指導をいただきつつ、主の御用のために自らをささげる信仰を強めていきたいと願っております。どうぞよろしくお願いたします。

就任にあたって

向日町教会 嶋田 律之



今年度から向日町教会に担任教師として赴任することになりました。約8年間のドイツ・ミュンヘン大学での留学を経て、又、東京の早稲田教会の担任教師として奉仕した後、長い学生時代をすごしたこの京都へ帰って来れたことをうれしく思います。又、向日町教会は私を育ててくださった教会でもあるので、そこで奉仕できることを感謝しています。

未だドイツの生活と日本の生活、又東京の生活と関西との生活の差異に日々驚きますが、その差異をも楽しむことができるように、この地に根ざしたいと思えます。

京都教区の方々には、これから教えていただくことがたくさんありますが、なにとぞよろしくお願いたします。

滋賀地区報告

近江八幡教会 美藤 章

滋伝協は五月一日(金)に今年度第一回役員会を開催し、第四四回総会期の役員会の組織編成および各会部・各委員会の当面の活動計画ほか諸議題の協議をもって今年度の歩みに出発しました。

教師会は今年度も「教師問題」をテーマに取り上げ、毎月の例会は礼拝と発題の担当者を立てて開催しています。礼拝後には発題を受けて様々な角度からの議論が展開されています。七月例会(二日・大津教会)は加辺永吉教師が長年の牧会経験を踏まえて発題されます。なお今年度滋賀地区では、大津教会担任教師に高田太教師が就任されました。

青年部は今年度春の行事として、六月三日(土)「長浜カンターランド」のテーマで、長浜教会川上カクタ(幹太)教師の案内による長浜市の歴史、産業、自然などを探索する体験集会を実施します。

社会委員会は八月五日(日)午後、大津教会で「八・一五を覚え、平和を求める集会」を実施します。「戦後体制から脱却してどこへ行くのか。〈今や戦前〉」のテーマで、発題者に不破哲さん(ジャーナリスト・草津教会員)と木戸進次さん(自治労滋賀県本部委員長)をお招きして開催されます。本集会はこの

れまで社会委員会主催で一貫して取り組んできた活動であり、年間活動の重要な柱の一つです。また八月六日(月)〜七日(火)には、環境問題を学ぶ大人と子どもの合宿が計画されています。場所は「ゼロウェイスト(ゴミ・ゼロ)宣言」の徳島県上勝町です。

両丹地区報告

丹後宮津教会 上 森 俊 明

二〇〇七年度は全役員が地区規定により改選され、新しい四役で運営することになりました。これまでの両丹地区の歩みを踏襲し、地区の伝道を共に担う教会が、それぞれの個性を尊重しつつ、伝道協力できる地区でありたいと願っています。

本年度は、六月に東舞鶴教会沖崎教師就任式、五月に丹波新生教会足立麻子教師就任式が執行され、それぞれの教会、教師が心をひとつにして新しい歩みを始められたことは、両丹地区にとっても大きな喜びとなりました。六月の第三主日は、両丹地区の伝道を覚えて各教会が礼拝を捧げました。その礼拝席上献金を両丹地区互助伝道献金として捧げました。

今後の地区の活動は、オルガニストのレベルアップと、新しい奉仕者が与えられることを願って毎年続けられている、電子オルガン

講習会(於丹波新生教会園部会堂)、リードオルガン講習会(於丹波新生教会亀岡会堂)が予定されています。

七月一六日(月・祝)に京都教区大会・両丹地区信徒大会が東舞鶴教会において行なわれる予定となっています。この集会を通して、京都教区各地区の信徒の交わりが、より豊かなものとなることを願っています。

他にも、教会学校教師研修会(一〇月)、信徒セミナー(十一月)が開催されることが決まっています。各集会在両丹地区の伝道に有意義なものとなることを願っています。また今年度は、両丹地区の活動について考える会(九月)を開催することとなりました。長年続けている活動はそれぞれ有意義なものですが、あらためて語り合うことによって、新しい発見があることを期待しています。

京都南部地区報告

京都教会 入 治 彦

二月一八日(日)洛北教会において「京都南部地区総会」が開催され、新六役が選出されました。地区長…入治彦(京都)、副地区長…西岡隆之(京都丸太町信徒)、書記…前川裕(宇治)、会計…広瀬規代志(室町)塚本誠一(京都信徒)、森本昭(平安信徒)です。六役会を四月二〇日(金)に行い、活動方針、

活動計画を話し合いました。

常任委員会は、五月一八日(金)に行い、地区総会、教区総会を踏まえて地区の活動方針、今期の体制、年間計画を検討いたしました。

活動方針…(1)四六教会、伝道所の働きをおぼえて地区活動を行う。(2)教区の宣教課題を地区でも共有し、学びの時をもつ。学習会に力を入れる。継続の課題…(1)学習会…同性愛者差別問題に取り組むために(教区の課題の共有)、(2)デナリオン献金の推進、(3)集会開催日の調整、(4)役員選挙の改善を考える。

今期の地区の体制は、以下のように組まれています。①教師部…俣田浩一(西陣)、②教育部…指方周平(桂) ③社会部…六役、④伝道部…指方周平(桂)、⑤音楽部…奈良いずみ(西が丘)、⑥青年部…三浦啓(紫野信徒)、⑦信徒部…奈良誠治(向日町信徒)、⑧女性部…木下雅子(京都丸太町信徒)、⑨広報部…六役、⑩部落差別問題委員会…川上穰(錦林信徒)、⑪南山城伝道協議会…山下茂雄(醍醐)、⑫西山地区伝道協議会…指方周平(桂)、⑬京都キリスト教協議会…佐伯幸雄(同志社)が担当されることになりました。

年間計画については、世界聖餐日京都韓日合同礼拝は一〇月七日(日)午後四時、会場は未定。新年合同讃美礼拝は、一月一日(火)午後二時、栄光館。初週祈禱会は、一月九日(水)午後七時から各ブロックごとに開催さ

れます。地区総会は、二月一七日(日)午後二時会場は宇治教会です。地区大会は今年度は開催されません。今から予定に入れておいていただければと思います。

現在、京都南部地区常任委員会主催で同性愛者差別問題についての学習会を行っています。『レズビアンという生き方』と『キリスト教の異性愛主義を問う』という堀江有里さんが著した本をテキストに隔月のペースで読んでいます。五月二一日には、奈良いずみさんに発題していただきました。出席一〇名。次回は、七月一三日(金)午後七時より教区センターで、前川裕さんの発題です。奮ってご参加ください。

教区の今後の予定

- ・京都南部地区常任委員会主催学習会
『「レズビアン」という生き方』キリスト教の異性愛主義を問う』をテキストとしての学習会(三)
- 日時 七月一三日(金) 午後七時〜九時
- 場所 京都教区センター
- ・二〇〇七年度京都教区大会・両丹地区信徒大会
テーマ 「「こころ・からだ・いのち」」
日時 七月一六日(月・休)
午前一一時〜午後三時三〇分

場所 舞鶴市中総合会館4Fホール
・滋賀地区「八・一五を覚え、平和を求めめる集会」
テーマ 「戦後体制から脱却」してどこへ行くのか?〜いまや戦前!!〜」
日時 八月五日(日)
午後三時三〇分〜五時三〇分

場所 大津教会
・滋賀地区環境問題を学ぶ大人と子どもの合宿
日時 八月六日(月) 午前九時〜
七日(火) 午後五時

場所 「ゼロ・ウェイスト(ゴミ・ゼロ)宣言」の徳島県上勝町
・第二八回京都教区部落解放夏期研修会
テーマ 『部落差別と宗教』パートⅢ―部
日時 八月一九日(日) 午後三時三〇分
〜二〇日(月) 午後五時

場所 草津教会
・教区教師部学習会
講演 「家庭内暴力(DV)とキリスト教的ケア(仮)」
日時 九月一三日(木)
午前一一時〜午後三時

場所 京都教区センター
・「合同」問題特設委員会公開学習会
テーマ 「共同性への問い―一九六九年『合同』を生きる教会として―」

日時 九月一六日(日) 午後六時
場所 洛南教会
・二〇〇七年度滋賀地区信徒大会
日時 九月二四日(月・休)
場所 彦根教会

◇ 報告 ◇

教区総会会場で「アハリー・アラブ病院を支援する会」への募金をお願いいたしましたところ二〇、五九三円の募金が寄せられました。ありがとうございます。早速送金いたしました。(谷村徳幸)

編集後記

第七一回(合同後第四一回)教区総会を経て、教区、地区の各部、各委員会が新たな体制で活動を始めています。様々なテーマで集會が予定されています。どうぞ積極的なご参加をお願いいたします。遅くなりましたが、今期第一号の教区ニュースをお届けいたします。今後も、教区の交わりを深め、活動を共有する場として行きたいと願っています。准允、按手を受けられた方々、新しく京都教区に着任された教師の方々の言葉は、今回は一部の方しか掲載することができませんでしたが、次号にも引き続き掲載させていただきます。